

エキナケア属
特性調査マニュアル



(第2版)

令和3年3月15日 改正

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

種苗管理センター

特性表

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	1	QN	草姿	Plant: growth habit	草姿	観 察 VG	1 2 3 4	直立 半直立 半開張 開張	upright semi upright semi spreading spreading		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

主茎及び分枝の伸長方向を観察により評価する。



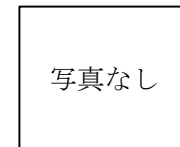
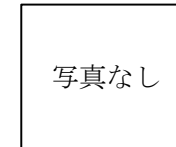
1
直立
upright



2
半直立
semi upright



3
半開張
semi spreading



4
開張
spreading

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
2	2	2	QN (* (+)	草丈	Plant: height	地際から頂部までの長さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	モップヘッド	

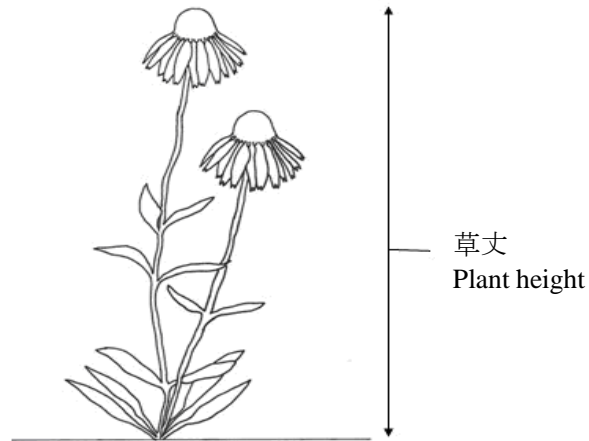
●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期。

開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

地際から頂部(植物体の最頂部)までの長さを測定する。



※審査基準より図を引用

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
3	3	3	QN (+)	多花性	Plant: floriferousness	開花盛期に同時に咲いている花の数	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

●調査時期

満開時（株がもつ蕾の8割程度が咲いた時期）（下の写真を参照。）

●調査方法

満開時（株がもつ蕾の8割程度が咲いた時期）の花数を観察する。開花する前の蕾は含まず、古くなった花は含める。



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong

※審査基準より写真を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	4	QN (+)	株の粗密	Plant: density	茎、葉、花を含む植物体全 体の印象における株の粗密	観察 VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。

開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

茎、葉、花を含む植物体全体の印象における株の粗密を観察により評価する。



3
粗
sparse

4
やや粗
sparse to medium

5
中
medium

6
やや密
medium to dense

7
密
dense

※上段の写真は審査基準より引用

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	5	PQ	茎の色	Stem: color	茎の色	観 察 V G (a)	1 2 3 4 5	淡 緑 緑 やや紫を帯び た緑 かなり紫を帯 びた緑 紫	light green medium green green tinged slightly purple green tinged heavily purple purple		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(a) 茎に係る形質は、花柄を除き3等分した中央部を調査する。
茎の色を観察により評価する。品種によっては、日光の当たり具合によって影響されやすいものもあることを考慮して評価する。



1
淡
緑
light green

2
緑
green

3
やや紫を帯びた緑
green tinged slightly
purple

4
かなり紫を帯びた緑
green tinged heavily
purple

5
紫
purple

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	6	QN	葉の数	Stem: number of leaves	主茎及び側枝に着生する葉 の数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

主茎及び側枝に着生する葉の数を測定する。
頂花をもつ一本の分枝について、主茎及び側枝に着生する葉を全てカウントする。根出葉は含めない。
品種内においても側枝の出方によりしばしば値が大きく変動することに注意する。



参考事項

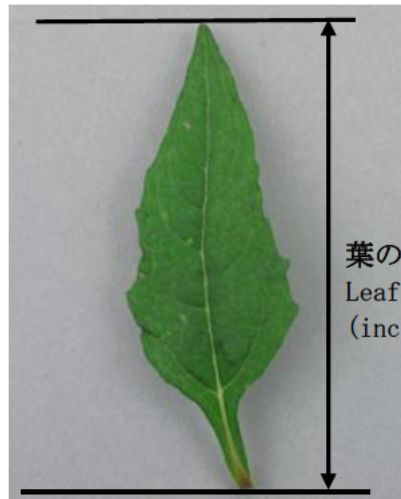
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	7	QN (*)	葉の長さ (葉柄を含む)	Leaf: length (including petiole)	葉 (葉柄を含む) の長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉 (葉柄を含む) の長さを軽く押し広げた状態で測定する。



葉の長さ
Leaf: length
(including petiole)

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	8	QN (*)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の幅を軽く押し広げた状態で測定する。



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	9	QN (*)	葉の長さ／幅	Leaf : length/width ratio	葉の長さ／幅の比	測定 比 MS (b)	3 5 7	小 中 大	slightly elongated moderately elongated strongly elongated		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の長さ／幅の比の値を算出する。
すなわち (形質7の測定値) / (形質8の測定値) である。小数点第2位を四捨五入し第1位までとする。

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	10	QN	葉の最大幅の位置	Leaf: position of broadest part	葉の最大幅の位置	観察 VG (b)	1 2 3	中央あるいはわずかに基部側 やや基部側 基部側	at middle or slightly towards base moderately towards base strongly towards base		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉（葉柄を含む）の最大幅の位置を観察により評価する。



1

中央あるいはわずかに基部側
at middle or slightly
towards base



2

やや基部側
moderately towards base



3

基部側
strongly towards base

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	11	QN (*)	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	葉の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	ニーハイ	

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の緑色の濃淡を観察により評価する。



1
淡
light



2
中
medium



3
濃
dark

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	12	QL (* G	葉の斑の有無	Leaf: variegation	葉の斑の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ニーハイ	

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の斑の有無を観察により評価する。

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	13	PQ (*)	葉の斑の色	Leaf: color of variegation	葉の斑の色	観察 VG (b)	1 2 3 4	白 黄白 黄 黄緑	white yellowish white yellow yellow green		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。

開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。

葉の斑の色を観察により評価する。

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	14	PQ (*)	葉の斑の分布	Leaf: distribution of variegation	葉の斑の分布	観 察 VG (b)	1 2 3	周縁部 中央部 不規則	marginal central zone irregular		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の斑の分布を観察により評価する。

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	15	QN (*)	葉のしわ	Leaf: rugosity	葉のしわの強弱	観察 VG (b)	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	モップヘッド ニーハイ	

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行く。

開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。

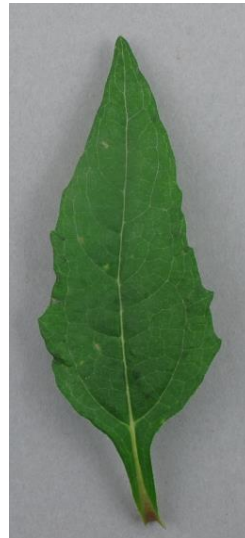
葉のしわの強弱を観察により評価する。葉の表面の凸凹の程度や触ったときの感じも考慮する。



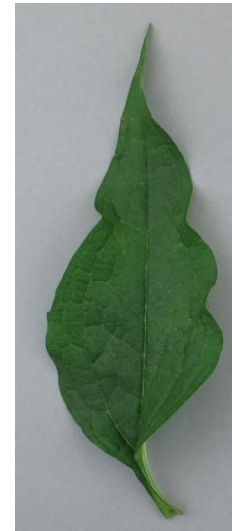
1
無又は極弱
absent or very weak



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	16	QN	葉の光沢	Leaf: glossiness	葉の光沢の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。

開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。

葉の光沢の強弱を観察により評価する。

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	17	QN (* (+)	葉の周縁部の鋸 歯	Leaf: indentations of margin	葉の周縁部の鋸歯の多少	観察 VG (b)	1 2 3 4	無又は極少 少 中 多	absent or very few few medium many		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

(b) 葉に係る形質は、花茎を3等分した中央部の典型的な葉を調査し、特に指示がない限り、葉の表面を調査する。
葉の周縁部の鋸歯の多少を観察により評価する。



1	2	3	4
無又は極少	少	中	多
absent or very few	few	medium	many

※審査基準より写真を引用

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	18	PQ (*)	花柄の色	Peduncle: color	花柄の色	観 察 V G	1 2 3 4	緑 やや紫を帯び た緑 かなり紫を帯 びた緑 紫	green green tinged slightly purple green tinged heavily purple purple		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

花柄の色を観察により評価する。



1
緑
green



2
やや紫を帯びた緑
green tinged slightly
purple



3
かなり紫を帯びた緑
green tinged heavily
purple



4
紫
purple

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	19	QN (*)	花柄の毛の粗密	Peduncle: pubescence	花柄の毛の粗密	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ニーハイ	

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

花柄の毛の粗密を観察により評価する。



1
無又は極粗
absent or very
sparse



2
粗
sparse



3
中
medium



4
密
dense



5
極密
very dense



参考事項

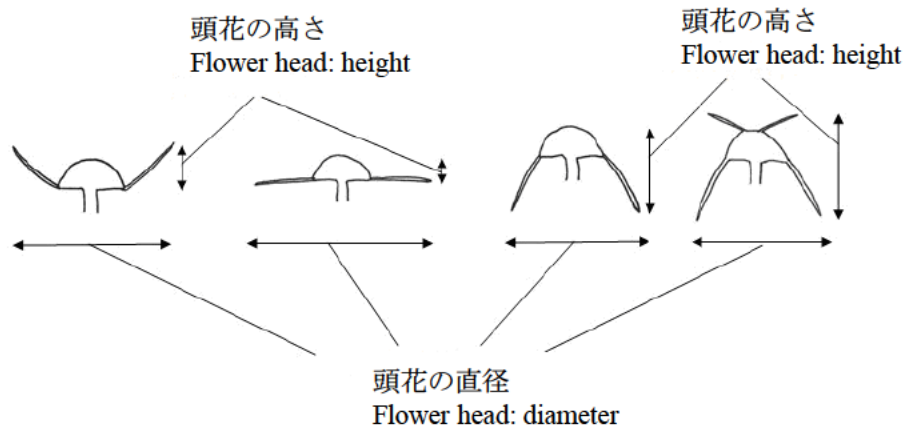
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	20	QN (* (+)	頭花の直径	Flower head: diameter	自然な状態での頭花の直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ニーハイ	

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

自然な状態での頭花の直径（最大径）を測定する。



※審査基準より図を引用

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	21	QN (* (+)	頭花の高さ	Flower head: height	自然な状態での頭花の高さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high		

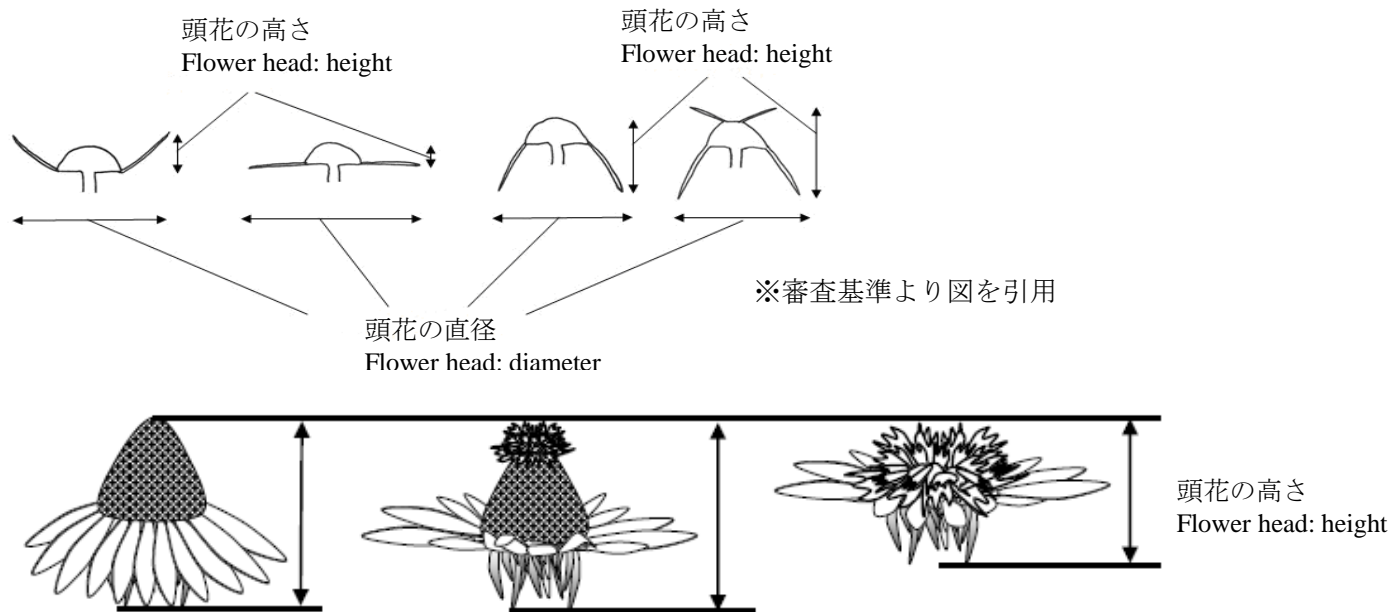
●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

自然な状態での頭花の高さを測定する。

総ほう最下部、あるいは花弁最下部のどちらか下方に位置する部位から頂部までの高さを測定する。



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	22	QN (*)	頭花の舌状花の 数	Flower head: number of ray florets	舌状花の数（花盤内に生じ た舌状花弁を除く。）	測定 MS (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ニーハイ	

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花の数（花盤内に生じた舌状花弁を除く。）を測定する。



頭花の舌状花
これらを数える。

花盤内に生じた舌状花弁
これらは含めない。

※審査基準より写真を引用

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	23	QN (* (+)	頭花の舌状花の基部の向き	Flower head: attitude of ray florets at origin	舌状花の基部の向き	観察 VG (c)	1 2 3 4	斜上 水平 やや下垂 下垂	semi-erect horizontal semi-drooping drooping	モップヘッド	

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花の基部の向きを観察により評価する。舌状花どうしの重なりにより影響されることもあるため、代表的なものを評価する。頭花を上面から見た時の全体の印象も評価の参考にする。



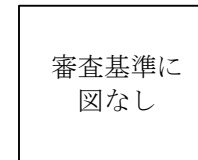
1
斜上
semi-erect



2
水平
horizontal



3
やや下垂
semi-drooping



4
下垂
drooping

※審査基準より図を引用



1
斜上
semi-erect



2
水平
horizontal



3
やや下垂
semi-drooping



4
下垂
drooping

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	24	QN (* (+)	頭花の舌状花弁 の相対的な数	Flower head: relative number of ligulate ray florets	舌状花の全体数に対する舌 状花弁の数の比	測 定 比 MS (c)	1 2 3 4 5	無 小 中 大 全部又はほぼ 全部	none low medium high all or almost all		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花（舌状花弁のほか、さじ状花弁、管状花弁などを含む）の全体数に対する舌状花弁の数の割合（0.00-1.00）を算出する。
小数点第3位を四捨五入し第2位までとする。

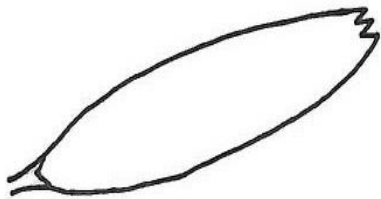
舌状花弁：平もしくは、先端部だけ内に曲がっているもの、側部だけ内に曲がっているもの。

“相対的”とは舌状花の全体数に対する相対的な舌状花弁の数を意味し、舌状花弁の絶対数ではない。

“Relative” means the number of ligulate ray florets relative to the overall number of ray florets.
It is this which is assessed, not the absolute number of ligulate ray florets.

舌状花弁は、平状である。

Ligulate florets are flat. （※審査基準の記載を引用）



※審査基準より図を引用



参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	25	QN (* (+)	頭花のさじ状花 弁の相対的な数	Flower head: relative number of spatulate ray florets	舌状花の全体数に対するさ じ状花弁の数の比	測 定 比 MS (c)	1 2 3 4 5	無 小 中 大 全部又はほぼ 全部	none low medium high all or almost all		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花（さじ状花弁のほか、舌状花弁、管状花弁などを含む）の全体数に対するさじ状花弁の数の割合（0.00-1.00）を算出する。

小数点第3位を四捨五入し第2位までとする。

さじ状花弁：明確に筒部部分が存在し、先端部側が筒部の幅より広がっており、筒部の長さが全体の1/3を超えるもの。

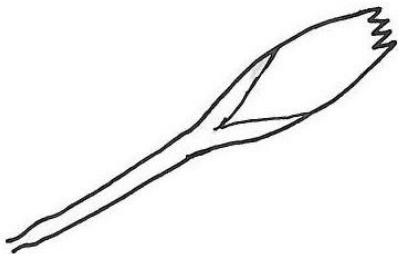
“相対的”とは舌状花の全体数に対する相対的なさじ状花弁の数を意味し、さじ状花弁の絶対数ではない。

“Relative” means the number of spatulate ray florets relative to the overall number of ray florets.

It is this which is assessed, not the absolute number of spatulate ray florets.

さじ状花弁は、小花の一部が管状であり、かつ一部が平状である。

Spatulate ray florets are where part of the floret is tubular and part is flat. （※審査基準の記載を引用）



※審査基準より図を引用



参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	26	QN (* (+)	頭花の管状花弁 の相対的な数	Flower head: relative number of quilled ray florets	舌状花の全体数に対する管 状花弁の数の比	測 定 比 MS (c)	1 2 3 4 5	無 小 中 大 全部又はほぼ 全部	none low medium high all or almost all		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花（管状花弁のほか、舌状花弁、さじ状花弁などを含む）の全体数に対する管状花弁の数の割合（0.00-1.00）を算出する。

小数点第3位を四捨五入し第2位までとする。

管状花弁：筒部の割合が概ね9割以上のもので、基部から先端部まで概ね同じ幅又は細くなっているもの。

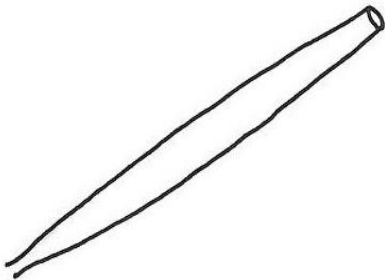
“相対的”とは舌状花の全体数に対する相対的な管状花弁の数を意味し、管状花弁の絶対数ではない。

“Relative” means the number of quilled ray florets relative to the overall number of ray florets.

It is this which is assessed, not the absolute number of quilled ray florets.

管状花弁は、小花の全長において管状である。

Quilled florets are where the whole length of the floret is tubular. （※審査基準の記載を引用）



※審査基準より図を引用



参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	27	QN (*)	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の長さ	測定 cm MS (c) (d)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花の最長部を測定する。

舌状花が湾曲している場合は、押し広げて測定する。

基部の子房部分を含んで測定する。



舌状花の長さ

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	28	QN (*)	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の幅	測定 cm MS (c) (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ニーハイ	

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花の最大幅部を自然状態で測定する。



参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29	29	29	QN (*)	舌状花の長さ／ 幅	Ray floret: length/width ratio	舌状花の長さ／幅の比	測定 比 MS (c) (d)	3 5 7	小 中 大	low medium high		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

舌状花の長さ／幅の比の値を算出する。

すなわち (形質27の測定値) / (形質28の測定値) である。小数点第2位を四捨五入し第1位までとする。

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	30	PQ (* (+)	舌状花の外面の 色 (さじ状花 弁、管状花弁に 限る。)	Only varieties with spatulate or quilled ray florets: Ray florete: color of outer side	さじ状花弁、管状花弁の管 状部の上面の色	観察 VG (c) (d)		RHS カラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

さじ状花弁、管状花弁の管状部の上面の色をRHS カラーチャートで記録する。 複数の色がある場合はその旨を記載する。

小花の管状部の上面を調査する。

To be record on the quilled part of the floret, on the area facing upwards



この部分の色を調査する。

※審査基準より図を引用

花弁の管状部の上面



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	31	PQ (* G	舌状花の表面の 主な色	Ray floret: main color of inner side	舌状花の表面の主な色	観察 VG (c) (d)		RHS カラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

舌状花の表面の主な色をRHS カラーチャートで記録する。

舌状花の主要な形がさじ状の品種は筒部開口部から先端部で表面の色を調査する。

舌状花の主要な形が管状の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開いた内側）で表面の色を調査する。



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	32	PQ (*)	舌状花の表面の 二次色	Ray floret: secondary color of inner side	舌状花の表面の二次色	観察 VG (c) (d)		RHS カラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

舌状花の表面の二次色をRHS カラーチャートで記録する。

舌状花の主要な形がさじ状の品種は筒部開口部から先端部、管状の品種は筒部開口部から先端部及び筒部内側面（筒部を切り開く）で表面の二次色を調査する。

N25A
(二次色)



64B
(二次色)



仮に先端部側と基部側とで色が等面積に分かれた場合は、先端部側の色を主な色とし、基部側の色を二次色とする。

※審査基準より図を引用

参考事項

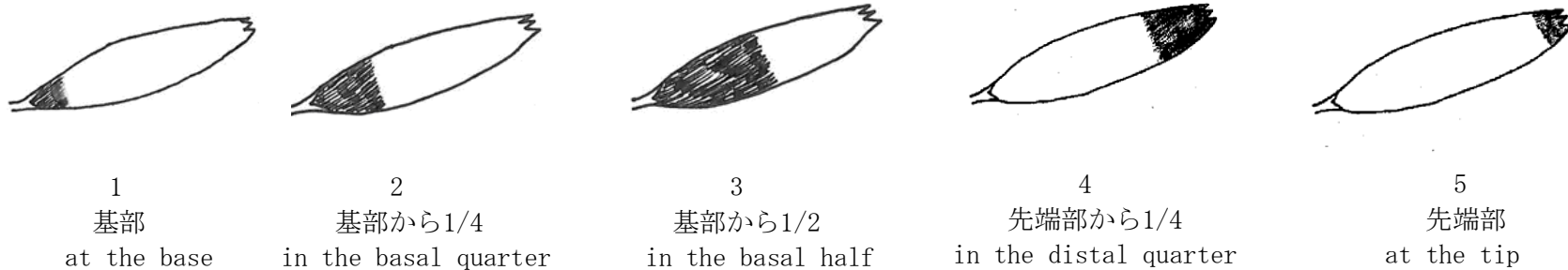
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	33	PQ (* (+)	舌状花の表面の 二次色の分布	Ray floret: distribution of secondary color of inner side	舌状花の表面の二次色の分 布	観 察 V G (c) (d)	1 2 3 4 5	基部 基部から1/4 基部から1/2 先端部から1/4 先端部	at the base in the basal quarter in the basal half in the distal quarter at the tip		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。舌状花の表面の二次色の分布を観察により評価する。



※審査基準より図を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	34	QN (+)	舌状花の曲り	Ray floret: curvature	舌状花の曲り	観 察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5	かなり内曲 やや内曲 平 やや外反 かなり外反	strongly incurving weakly incurving straight weakly reflexing strongly reflexing		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。
舌状花の曲りを観察により評価する。

inner side



1 かなり内曲
strongly incurving



2 やや内曲
weakly incurving



3 平
straight



4 やや外反
weakly reflexing



5 かなり外反
strongly reflexing

※審査基準より図を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
35	35	35	QN (*)	舌状花のねじれ	Ray floret: twisting	舌状花のねじれ	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。
舌状花のねじれを観察により評価する。

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	36	QN (+)	舌状花の横断面 の形	Ray floret: profile in cross section	舌状花の横断面の形	観 察 VG (c) (d)	1	かなり凹	strongly concave		
								2	凹	moderately concave		
								3	やや凹	weakly concave		
								4	平	flat		
								5	やや凸	weakly convex		
								6	凸	moderately convex		
								7	かなり凸	strongly convex		

●調査時期

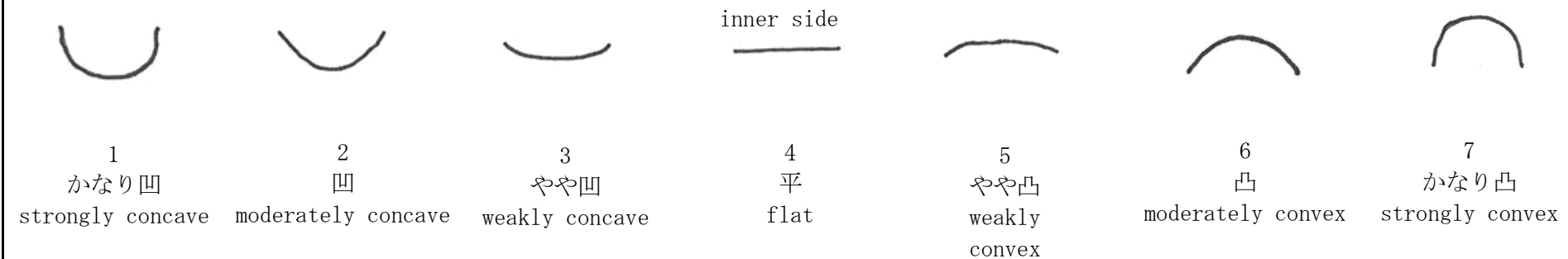
(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

舌状花の中間部の横断面の形を観察により評価する。

管弁については調査から除外し、さじ弁 については最大幅部を調査する。



※審査基準より図を引用

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	37	PQ (* (+)	舌状花の先端部の形	Ray floret: shape of apex	舌状花の先端部の形	観察 VG (c) (d)	1 2 3	尖る 丸 切形	pointed rounded truncate		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。舌状花の先端部の形を観察により評価する。



1 尖る
pointed



1 尖る
pointed



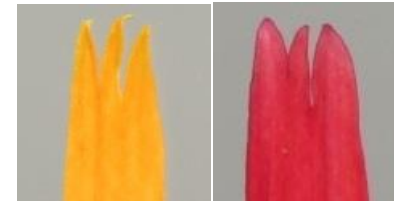
2 丸
rounded



2 丸
rounded



3 切形
truncate



3 切形
truncate

※審査基準より図を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	38	QN (* (+)	舌状花の先端の 切れ込み	Ray floret: indentations of tip	舌状花の先端の切れ込みの 深さ	観 察 VG (c) (d)	1 2 3 4	無又は極浅 浅 中 深	absent or very shallow shallow medium deep		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

(d) 全ての舌状花に関する形質は、優占的なタイプのうち、最も典型的な舌状花を調査する。

舌状花の先端の切れ込みの深さ（絶対値）を観察により評価する。舌状花の大きさに対する切れ込みの割合は考慮しない。



2
浅
shallow

3
中
medium

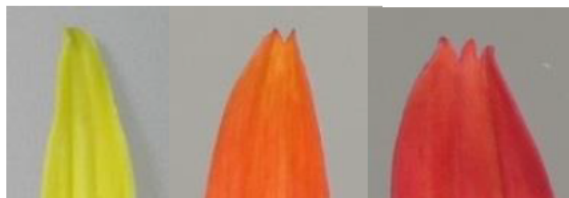
4
深
deep

※審査基準より写真を引用

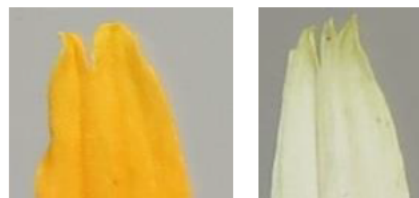
前ページの続き



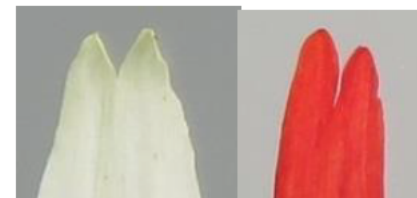
1
無又は極浅
absent or
very shallow



2
浅
shallow



3
中
medium



4
深
deep

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	39	QL (* (+) G	花盤の型	Disc: type	花盤の型	観察 VG (c)	1 2	デイジー型 アネモネ型	daisy anemone		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の型を観察により評価する。

花盤小花（管状花・丁字状花とも）に花弁状ないし花冠裂片様の構造がみられる場合にアネモネ型と評価とする。



1 デイジー型
daisy



2 アネモネ型
anemone

花冠裂片様の構造なし

花冠裂片様の構造あり



1
デイジー型
daisy



2
アネモネ型
anemone



※上段の写真は審査基準より引用

参考事項

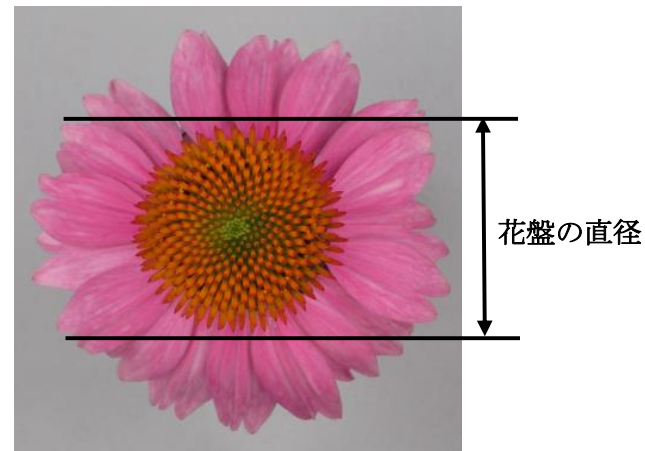
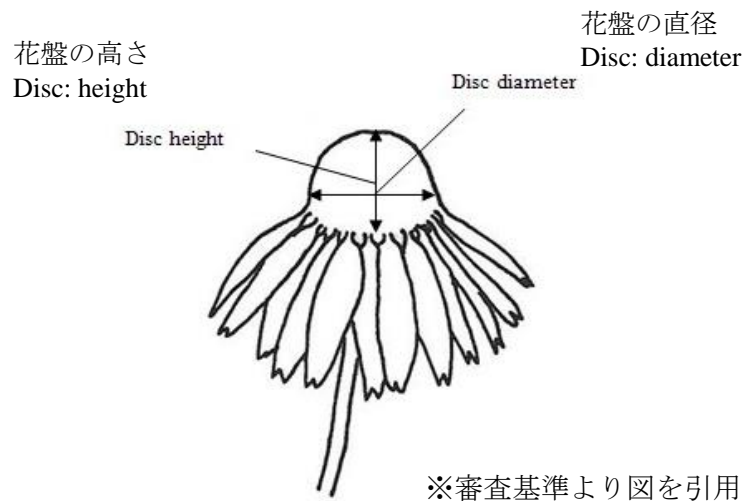
V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	40	QN (* (+)	花盤の直径（デ イジー型の品種 に限る。）	Only varieties with disc type: daisy: Disc: diameter	花盤の直径（デ イジー型の 品種に限る。）	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ニーハイ	

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の最大径（デイジー型の品種に限る。）を測定する。



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	41	QN (*)	花盤の直径（ア ネモネ型の品種 に限る。）	Only varieties with disc type: anemone: Disc: diameter	花盤の直径（アネモネ型の 品種に限る）	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の最大径（アネモネ型の品種に限る。）を測定する。



花盤の直径

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	42	QN (* (+)	花盤の高さ (デ イジー型の品種 に限る。)	Only varieties with disc type: daisy: Disc: height	花盤の高さ (デ イジー型の 品種に限る。)	測定 cm MS (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high		

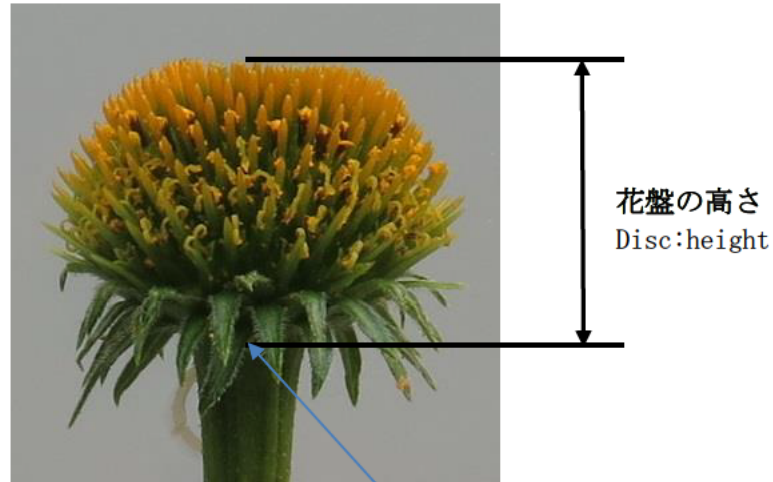
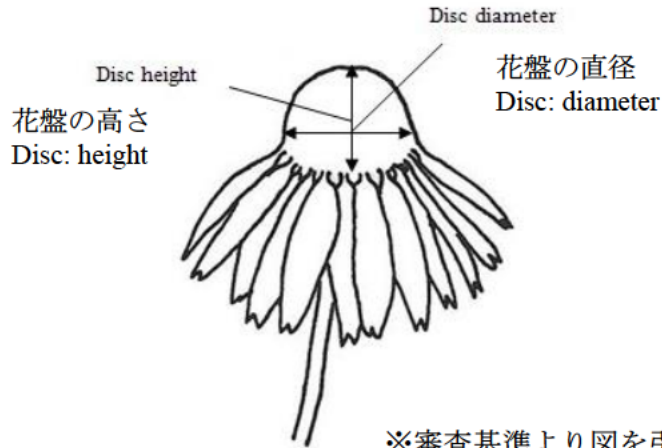
●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の高さ (デイジー型の品種に限る。) を測定する。

総ほう基部 (最基部側の総ほう片の着生部) から花盤先端までの高さを測定する。花盤内に舌状花卉が生じた場合はそれらも含めて測定する。



最基部側の総ほう片の着生部
(写真は説明用に舌状花を除去してある。)

参考事項

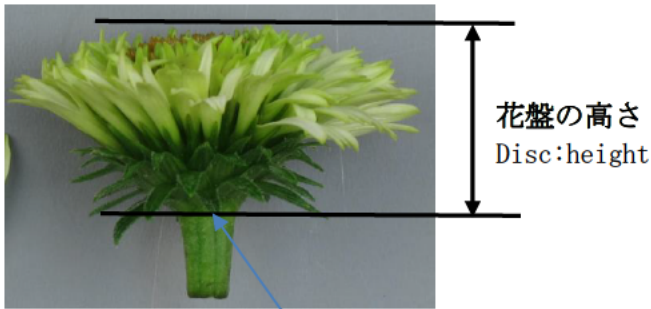
V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	43	QN (*)	花盤の高さ (ア ネモネ型の品種 に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc: height	花盤の高さ (アネモネ型の 品種に限る。)	測定 cm MS (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の高さ (アネモネ型の品種に限る。) を測定する。
総ほう基部 (基部側の着生部) から花盤先端までの高さを測定する。



基部側の総ほう片の着生部
(写真は説明用に舌状花を除去してある。)

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	44	QN (* (+)	花盤の高さ／幅 (デイジー型の 品種に限る。)	Only varieties with disc type: daisy: Disc: ratio height/diamete r	花盤の高さ／幅の比 (デイ ジー型の品種に限る。)	測定 比 MS (c)	3 5 7	小 中 大	low medium high		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

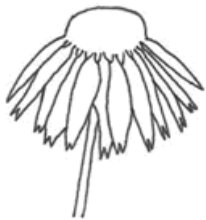
●調査方法

デイジー型の品種に限り、花盤の高さ／花盤の幅（直径）の比の値を算出する。

すなわち（形質42の測定値）／（形質40の測定値）である。小数点第2位を四捨五入し第1位までとする。

形質44 花盤の高さ／幅の比（デイジー型の品種に限る。)

Char. 44: Only varieties with disc type: daisy: Disc: ratio height/diameter



3
低
low



5
中
medium



7
高
high

※審査基準より図を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
45	45	45	QN (*)	花盤の高さ／幅 (アネモネ型の 品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc: ratio height/diamete r	花盤の高さ／幅の比 (アネ モネ型の品種に限る。)	測定 比 MS (c)	3 5 7	小 中 大	low medium high		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

アネモネ型の品種に限り、花盤の高さ／花盤の幅（直径）の比の値を算出する。
すなわち（形質43の測定値）／（形質41の測定値）である。小数点第2位を四捨五入し第1位までとする。

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	46	QN (* (+)	頭花の直径に対 する花盤の直径	Disc: diameter in relation to flower head	花盤の直径／頭花の直径の 比	測定 比 MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の直径／頭花の直径の比の値を算出する。

デイジー型の品種については、(形質40の測定値) / (形質20の測定値) の値を算出する。小数点第3位を四捨五入し第2位までとする。

アネモネ型の品種については、(形質41の測定値) / (形質20の測定値) の値を算出する。小数点第3位を四捨五入し第2位までとする。

花盤の直径は、自然な状態での頭花の直径に対して相対的な比を調査する。

The disc diameter is assessed relative to the natural flower head diameter.



3
低
small

5
中
medium

7
大
large

※審査基準より写真を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
47	47	47	PQ (* (+) G	花盤の鱗片の色 (デイジー型の 品種に限る。)	Only varieties with disc type: daisy: Disc: color of paleae (spikes)	花盤の鱗片の色 (デイジー 型の品種に限る。)	観 察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	緑 黄緑 黄 橙 赤橙 赤褐 紫褐	green yellowish green yellow orange red orange red brown purple brown		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の鱗片の色 (デイジー型の品種に限る。) を観察により評価する。
参考として、花盤の鱗片の色を (デイジー型の品種に限る。) RHS カラーチャートで記録する。

鱗片と関連する花盤の小花が開やくあるいは開やく直前に、花盤の基部から頂点の中間部の鱗片を調査する。

To be recorded on paleae half way between the base and the top of the disc, just before the disc florets associated with the paleae have dehisced/opened - (see diagram below)

花盤の鱗片の色 (形質47) は、それが占める面積に関わらず、先端の色を調査する。

The color of the paleae (spikes) (characteristic 47) is always observed as the color at the tip, irrespective of area covered.

これ以外の色については見ない。

Any further colors should be ignored.



Correct stage and position in head to record paleae colour

鱗片の色を調査する適正な調査時期と調査部位
Correct stage and position in head to record paleae color



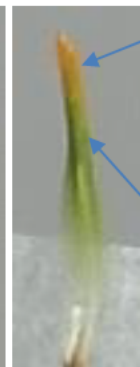
花盤の鱗片の色
Disc: color of paleae (spikes)

Disc: color of paleae (spikes)

Disc: second color of paleae (spikes)

花盤の鱗片の二次色
Disc: second color of paleae (spikes)

※審査基準より写真を引用



花盤の鱗片の色
Disc: color of paleae (spikes)

特性値: 04 橙

測定値: 23A

花盤の鱗片の二次色
Disc: second color of paleae (spikes)

特性値: 01 緑

測定値: 143C

(上の写真は説明用に舌状花を除去したもの。)

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	48	PQ (* (+)	花盤の鱗片の二 次色 (デイジー 型) の品種に限 る。)	Only varieties with disc type: daisy: Disc: second color of paleae (spikes)	花盤の鱗片の二次色 (デイ ジー型の品種に限る。)	観 察 VG (c)	1 2 3 4 5	緑 黄 橙 赤橙 赤褐	green yellow orange red orange red brown		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤の鱗片の二次色 (デイジー型の品種に限る。) を観察により評価する。

参考として、花盤の鱗片の二次色を (デイジー型の品種に限る。) RHS カラーチャートで記録する。

鱗片と関連する花盤の小花が開やくあるいは開やく直前に、花盤の基部から頂点の中間部の鱗片を調査する。

To be recorded on paleae half way between the base and the top of the disc, just before the disc florets associated with the paleae have dehisced/opened - (see diagram below)

花盤の鱗片の二次色 (形質48) は、(先端の色と違いがある場合) 先端部の真下の部分の色を調査する。

The second color (characteristic 48) is observed as the color directly below the tip (if different from the tip color).

これ以外の色については見ない。

Any further colors should be ignored.



Correct stage and position in head to record paleae colour

鱗片の色を調査する適正な調査時期と調査部位
Correct stage and position in head to record paleae color



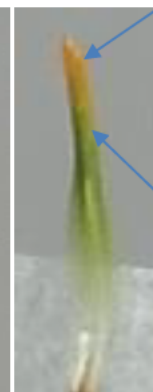
花盤の鱗片の色
Disc: color of paleae (spikes)

Disc: color of paleae (spikes)

Disc: second color of paleae (spikes)

花盤の鱗片の二次色
Disc: second color of paleae (spikes)

※審査基準より写真を引用



花盤の鱗片の色
Disc: color of paleae (spikes)

特性値: 04 橙
測定値: 23A

花盤の鱗片の二次色
Disc: second color of paleae (spikes)

特性値: 01 緑
測定値: 143C

(上の写真は説明用に舌状花を除去したもの。)

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	49	PQ (*)	花盤の小花の開やく前の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc: color before disc florets open	花盤の小花の開やく前の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。)	観 察 VG		RHS カラー チャート色票 番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

頭花を正面から観察し、花盤の小花の開やく前の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。) をRHS カラーチャートで記録する。
花盤小花と鱗片の色を含め、複数の色を観察できた場合は、全ての色を記録する。



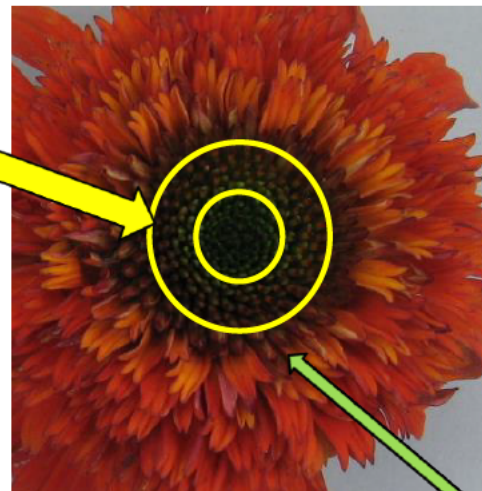
「ラズマタズ」

これは開やく直後の小花。評価しない。

黄色の円と円の間
(ドーナツ状) の部分
(開やく直前の小花が
含まれる部分)
を正面から観察する。
中心部は評価しない。

特性値:
59B;145D

測定値:
59B(主な色);145D(二次色)



「HOT PAPAYA」

これは開やく直後の小花。
評価しない。

特性値:
185B;145C

測定値:
185B(主な色);145C(二次色)

参考事項

VIPS No.	形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50	50	PQ (* G	花盤の小花の開やく時の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc: color after disc florets open	花盤の小花の開やく時の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。)	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

●調査時期

2～3番目に開花した分枝の頂花の開花盛期に行う。
開花盛期とは、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時期をいう。

●調査方法

頭花を正面から観察し、花盤の小花の開やく時の花盤の色 (アネモネ型の品種に限る。) をRHS カラーチャートで記録する。
複数の色を観察できた場合は、全ての色を記録する。

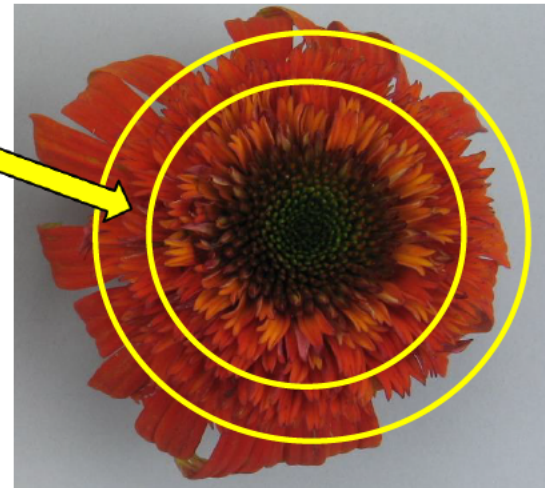


「ラズマタズ」

黄色の円と円の間
(ドーナツ状)の部分
(花盤の周縁の列に着生する、
完全展開し十分に特性を
発現している小花)を
正面から観察する。

特性値:
64D

測定値:
(空欄)



「HOT PAPAYA」

特性値:
34B

測定値:
(空欄)

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51	51	QL (* (+) G	花盤内に生じた舌状花卉の有無 (デイジー型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: daisy: Disc: presence of ray florets within the disc	花盤内に生じた舌状花卉の有無 (デイジー型の品種に限る。)	観 察 VG (c)	1 9	無 有	absent present		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤内に生じた舌状花卉の有無 (デイジー型の品種に限る。) を観察により評価する。



1
無
absent

9
有
present

※審査基準より写真

参考事項

V I P S No.	形 質 番 号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	52	QN (* (+)	花盤内に生じた舌状花弁の数 (花盤に舌状花弁を有するデイジー型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: daisy: with ray florets within the disc: Disc: number of ray florets within the disc	花盤内に生じた舌状花弁の数 (花盤に舌状花弁を有するデイジー型の品種に限る。)	観 察 VG (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤内に生じた舌状花弁の数 (花盤に舌状花弁を有するデイジー型の品種に限る。) を観察により評価する。



3
少
few

7
多
many

※審査基準より写真を引用

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	53	QN (*)	花盤の小花の長さ (アネモネ型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc floret: length	花盤の小花の長さ (アネモネ型の品種に限る。)	測定 mm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤最外列に着生する小花 (アネモネ型の品種に限る。) について、長さを測定する。湾曲している場合は、押し広げて測定する。基部の子房部分を含んで測定する。



花盤の小花の長さ

Disc floret:
length



花盤の小花の長さ

Disc floret:
length

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	54	54	QN	花盤の小花の幅 (アネモネ型の 品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc floret: width	花盤の小花の幅 (アネモネ 型の品種に限る。)	測定 mm MS (c)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤最外列に着生する小花 (アネモネ型の品種に限る。) について、幅を自然状態で測定する。



花盤の小花の幅

Disc floret: width



花盤の小花の幅

Disc floret: width

参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55	55	QN (+)	花盤の小花の反り（アネモネ型の品種に限る。）	Only varieties with disc type: anemone: Disc floret: curvature	花盤の小花の反り（アネモネ型の品種に限る。）	観察 VG (c)	1 2 3	水平 やや外反 かなり外反	straight weakly reflexed strongly reflexed		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤最外列に着生する小花（アネモネ型の品種に限る。）について、反りを観察により評価する。



1
平
straight

2
やや外反
weakly reflexed

3
かなり外反
strongly reflexed

※審査基準より写真を引用

参考事項

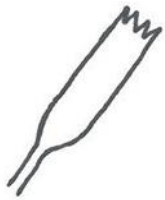
V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	56	QN (* (+)	花盤の小花の筒部の長さ (アネモネ型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc floret: length of tube	花盤の小花の筒部の長さ (アネモネ型の品種に限る。)	観察 VG (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤最外列に着生する小花 (アネモネ型の品種に限る。) について、花盤小花の全長に対する筒部の長さの割合 (下図A/B) を観察により評価する。筒部の長さには子房も含める。



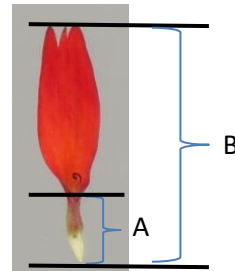
3
短
short



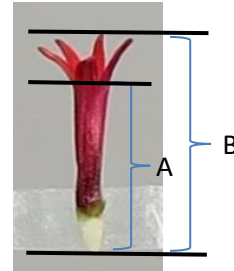
5
中
medium



7
長
long ※審査基準より図を引用



3
短
short



8
かなり長
long to very long

参考事項

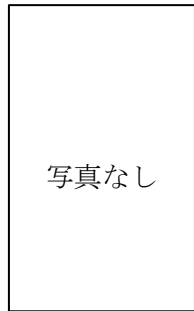
V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	57	57	QN (*)	花盤の小花の先端の切れ込み (アネモネ型の品種に限る。)	Only varieties with disc type: anemone: Disc floret: depth of indentations of tip	花盤の小花の先端の切れ込みの深さ (アネモネ型の品種に限る。)	観 察 VG (c)	1 2 3 4 5	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very shallow shallow medium deep very deep		

●調査時期

(c) 特に指示がない限り、全ての頭花、舌状花、花盤に係る形質は、頭花の花盤中心小花の半数が開やく又は開花した時に調査する。
2～3番目に開花した分枝の頂花で行う。

●調査方法

花盤最外列に着生する小花 (アネモネ型の品種に限る。) について、先端の切れ込みの深さを観察により評価する。
CPVOの審査基準の標準品種「HOT PAPAYA」(04 深) を目安に評価を行う。



1 無又は極浅
absent or very
shallow



2 浅
shallow



3 中
medium



4 深
deep



5 極深
very deep



参考事項

V I P S No.	形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方 法	階 級	状 態 (State)		標 準 品 種 (Ex. Var.)	備 考
				(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
58	58		QL	花色の移行性	Flower:color change with age	開花初期と開花終期との花 色の変化の有無	観 察 VG	1	無	absent		
								9	有	present		

●調査時期

開花初期については、花盤中心小花最外列の2列程度が開やくないし開花し、舌状花が展開しつつある時期とする。

開花終期については、花盤中心小花のほぼ全てが開やく又は開花した時期とする。

●調査方法

開花初期と開花終期との花色の変化の有無を観察により評価する。

花色の変化とは、開花した部分の花盤小花もしくは舌状花における時間経過による色相の変化をいう。褪色はこれに含めない。

以下に示す写真では、それぞれ左側の花が開花初期、右側の花が開花終期のものである。



1
無
absent
(同系色)



1
無
absent
(褪色)



9
有
present
(橙 → 赤)



9
有
present
(橙 → 赤)

参考事項